

おわりに

阪神淡路大震災から、二十年が経ちました。去る一月十六・十七日、兵庫県からお招きをいただき『追悼の献花』に、また兵庫県社会福祉協議会活動の環境整備（基金や連絡会設置、条例制定）を紹介し、「今後は巨大災害に備えた国家レベルの環境整備を」と求めました。先日、井戸兵庫県知事から、お札状が届きました。

パネルディスカッションでは「福井方式」と呼ばれる災害ボランティア活動の環境整備（基金や連絡会設置、条例制定）を紹介し、「今後は巨大災害に備えた国家レベルの環境整備を」と求めました。先日、井戸兵庫県知事から、お札状が届きました。

「私たちにはこの二十年間、創造的復興を目指し、県民一丸となつて懸命の努力を重ねてきました。一方、自然災害は猛威を振い、近い将来、南海トラフ地震の発生も危惧されています。大震災の経験と教訓を未来へと伝え、被害を最小化する減災社会を実現していくことこそ、被災地兵庫の責務です。」

とのことです。

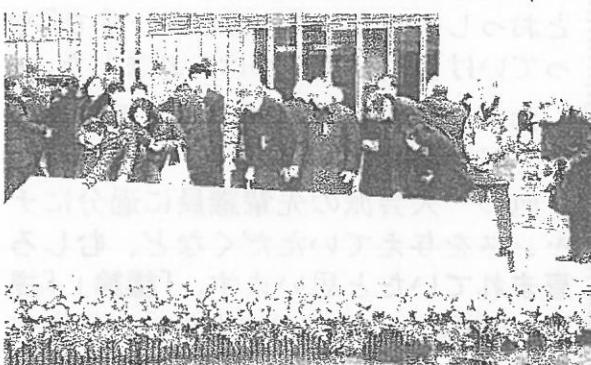
さて我が郷土は、六十七年前に福井大震災を経験しています。「福井烈震誌」には、被災状況、復旧活動など、当時の状況が仔細に記録されており、県内外各方面からの目覚しい救援活動は、すでに人々の自由意思によつて盛んに実施されたと記されています。

「災害の経験と教訓を未来へと伝える責務」は、

福井とて同じこと。防災に時効はありません。

どれだけ災害に対する備えが進んだか、この節目に当たり検証することが大事だとあらためて感じております。

『命と子どもと暮らしを守る』ため、今後も精一杯、尽力してまいります。



細川かわり県政報告

第22号

はじめに
早いもので、県議会に出させていただいて4年が経とうとしています。定例議会も残りあと一度となりました。そのため一般質問は、これまでのまとめという位置づけになりますが、言い足りないことをあれもこれもと総花的になりますが、それとも大上段に福井の将来像を語るか・・・現在思案しているところです。

県政課題は大きいものが多く、「少子高齢化」「女性政策」「総合治水」などとタイトルは数文字で表せますが、それらを克服し、社会が変わるまでには広範多岐に渡る現場改善や様々な角度からのアプローチが必要です。

4年間、与えられたチャンスをめいっぱい使い、走り回り、たくさんの種を蒔いてきました。まだ芽が出ないものから芽が出たもの、順調に育っているもの、開花し結実したものと成果は様々ですが、精一杯動いた4年間でした。

「県政報告」を常に行うことにもこだわりながら、皆様と共に喜びを感じてきました。「県が何やっているのかよくわからない」とのお声をいただき（私もそう感じていました）「これが仕事だ」と言い聞かせて、稚拙ながらも各所での報告会や新聞折り込み等で状況報告させていただきました。少しでも県政を身近に感じていただけたなら幸いです。

任期中の新聞折り込みの発行も、あと一回となりました。

これまで思いつくままに書いた報告を、お読みくださった皆さん、様々なご意見をくださった皆さんに、心より感謝申し上げます。

★ 教育の方針に人間力！

前回の県議会では、福井の教育の有り様について議論いたしました。「コミュニケーション力や好奇心、粘り強さなどが大事。」「骨太の教育を」というのが私の持論ですが、先ごろ行われた「福井の教育向上会議」の第2回会合で、「社会で活躍する人材を育成するには、人間力を伸ばすことも必要」といった意見が交わされたそうです。次の「教育振興基本計画」改訂に、期待が持てます。



今後は、この方向性が変わることがないか、一過性のイベント的なものにならないか、着目してまいります。

また、子ども達の人間性を養うには、まず先生方が健康で元気でなければなりません。子供たちのために、教員の多忙化解消を抜本的に使うことが必要だと、今後も訴え続けます。

★ ストーカー・DV対策強化

今年度所属の土木警察常任委員会で

ストーカーやドメスティックバイオレンス（DV）に関して様々な意見を述べてきました。地域を歩き、「お訪ねした玄関先にあざを付けられた女性が出てこられた」といった生々しい現実などを述べ、きめ細やかな対策を求めてきました。

おかげさまで、今年第1回目の県警・署長会議で、ストーカーやDVなどの人身安全関連の対策に一層力を入れる方針が確認されました。期待するとともに、実効性ある対策がとられ、「良くなつた」と実感できるか、今後も注視してまいります。



2月28日(土)

とき 午前11時～
ところ 四郎丸町65-2-1

「王子保公民館」

県政報告会のお知らせ



★ ラジオ「丹南FM79.1」

「県議会 夢通信」

2月28日(土)午後4時～4時30分
再放送 (日)午前9時～9時30分

★ 朝の街頭報告

細川かわり県政報告 H27.2
発行：福井県議会 細川かわり
<http://www.hosokawakawori.com/>
事務所：越前市村国1丁目2-11
TEL・FAX 42-5888



「食」は私たちの心と体を育む基本です。
健康新鮮な食生活を送り、食文化への関心「命を
いたくことへの感謝」「作った方々への感謝」の気
持ちが大切です。

私達の食と農業



明治時代、福井藩医学所で学び陸軍軍医となつた
「食育の祖」石塚左玄は、
「春苦味、夏は酢の物、秋辛味、冬は脂肪と合点して
食へ」

と旬の食物の大切さを説き、さらに
「その土地の季節のものを食べることが、最も栄養豊
富である。それが自然であり、そこに住んでいる人
に一番優しい食になる。」
と、地産地消、入郷従郷を説きました。

今日の日本は、米や魚の消費量が減り、米価は大幅に下
落、中山間地域にあっては鳥獸による農業被害と、農業・
漁業を取り巻く環境は厳しく、さらに、六〇年ぶりの農協
改革やTPP交渉など、荒波の中に有ります。
県は農家に対し「つなぎ融資の際の利子補給」などを行なうとしていますが、根本
的な解決とはなりません。国の政策をにらみつつ、地域
で出来ることをしつかり考えたいと思います。

県は薬草の試験
栽培を県内4箇所
で開始。中山間地域
の収入増になるよ
う期待しています。

6次化商品は中身の美味しさにどうやって気づいてもら
えるか、工夫が大事です。
パッケージや売り場のポッ
プにもご配慮を。販売力強化

この言葉通り、農業を地域で
守る気運を高めましょう！
福井のお米や野菜、魚を
食べましょう！
農業・漁業を、買って食べ
ることで守りましょう！



石塚左玄先生が提唱した
『身土不二』などを実践す
るためにも、『地域の農業は
地域で守っていく』という
意識を幅広い世代で、より
一層広めてまいりたい。

↑この対策もしょりと！
石塚左玄先生が提唱した
『身土不二』などを実践す
るためにも、『地域の農業は
地域で守っていく』という
意識を幅広い世代で、より
一層広めてまいりたい。



●H23年の議会で石塚左玄の教えを紹介しながら意見
を述べました。

福井の農家がなくなつたら、米や野菜
など新鮮な食物が手に入りにくくなる。
地産地消することは農業者のためだけで
なく、ひいては自分たちのためだといふ
ことをしつかり啓発することが大事だ。



↑この対策もしょりと！
石塚左玄先生が提唱した
『身土不二』などを実践す
るためにも、『地域の農業は
地域で守っていく』という
意識を幅広い世代で、より
一層広めてまいりたい。



議会あれこれ(4年間を振り返って)

びっくり！

◆知事一任！

大飯原発3・4号機の再可動判断を迫られた平成24年6月、「県民の意見を聞く=代弁者である議会の意見を聞く」とのことでの全員協議会が開催されました。

会派ごとに見解を表明したわけですが、最大会派の自民党県政会、第2会派の民主・みらい等の見解は「知事一任」・・・。

「知事一人に背負わせる！？」とこれにはびっくりしました。

国民を二分する議論は、それぞれの立ち位置によって言い分がありますから、賛否を明確にすればもう片方の意見の方々から反発を招くものです。厳しい局面であるほどに、大なり小なり「身を切る覚悟」が必要で、自分の軸足がどこに置かれているかが問われます。私の軸足は「命・子ども・くらし」！

やらなきゃ！

◆後に続く人

女性として是非ともやりたいことは「若手女性議員」の輩出です。

「女性が輝く社会」のためにも、女性議員はもっと増えるべきと願っているのですが、正直なところ一番のネックは「選挙」です。厳しくドロドロした戦いの現実は、誘うことを持たせます。

「他者を批判することで、自分を正当化する」という心理（認知的不協和）があります。特に、自分の行動や理論に矛盾が生じたときほど、その批判は半ばでっち上げの状態になるのだそうで、議員たる者、自分がそういう状態に陥らないよう常に気をつけなくてはなりません。

政策議論できちんと戦うという、選挙の有り様が大事です。選挙の姿は、後の議会活動とも関連するものです。

道、遠い！？ でも、頑張ります！

◆先輩の一言

嬉しかった！

私は「無所属」です。組織にとらわれず様々な角度から物事をとらえ訴えたいとの思いからです。

4年前の6月、「市議会では無所属で議員活動ができたけど、県議会ではどこまでやれるかなあ。」とちょっぴり不安に思いながら、初めての県議会に臨んだときのことです。

一般質問を終えて議場から出てきたとき、ベテランの先輩議員が、「よかったよ。議員なのだから意見はそれぞ違って当然。頑張れよ。」とおっしゃいました。嬉しい一言で『やつていける』と勇気づけられました。

おかげさまで4年間、無所属を貫くことができました。

他の一人会派の先輩議員に過分にチャンスを与えていただくなど、むしろ恵まれていたと思います。「議論」「提案」「対話」…根本の力を付け、目指すはオピニオンリーダーです。p(^_^)

◆無効票

へえ～！？

4年前の選挙で「へえ～！？」と初めて知ったのですが、投票用紙に候補者名以外を書いたら無効票になるということです。

「当たり前！」と思っていたのですが、候補者名に応援の気持ちを込めて「○」「☆」「♡」といったマークを加えても無効票なのです。←他事記載 知っていたようで知らなかつた事実。

(・_・;)

近年は「白票」も多く、記載台の前で何を書いていいかわからないといった方も増えているのだそうです。